

地域再生計画（污水処理施設整備交付金）事後評価調査

都道府県名	佐賀県	事業実施主体	嬉野市	地域再生計画名	「誘う・魅せる・親しむ」嬉野まちづくり計画
計画期間	平成28年～令和3年	評価責任者	嬉野市建設部長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標	基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価	
		基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績		指標 総数	達成 数		
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	污水処理施設の整備の促進 污水処理人口普及率	60.3%	H27	65.4%	H30	64.9%	70.2%	R3	69.9%	×	最終目標値を0.3%（79人）下回る結果になった要因は、社会情勢の変化に伴い污水処理人口普及率が鈍化した。これは社会情勢が落ち着き伸びる見込みである。 最終目標値を1,427人下回る結果となったが、市外からの移住者も増加しており、市内全体で污水処理施設整備を実施し、暮らし易い環境を整備し実施することで定住人口を確保したい。 最終目標値を0.1mg/L下回り目標値を達成することができた。これは、下水道及び浄化槽の整備効果が発揮されているからであり、今後も河川の水質向上に努めたい。
	指標 2	定住人口の確保	27,637人	H27	27,134人	H30	26,087人	26,614人	R3	25,187人	×	
	指標 3	河川の水質確保	1.5mg/L	H27	1.3mg/L	H30	1.2mg/L	1.0mg/L	R3	0.9mg/L	○	
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1											
	指標 2											
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価						
			計画	中間年度 (H30)	最終実績							
特別措置を適用して行う事業	公共下水道事業	12,500m	3,238m	7,588	計画に対する進捗率は60.9%と遅れが伺えるが、これは管渠埋設箇所の早期舗装復旧の関し調整が必要となり、着手したため施工延長が伸びていないのが要因である。							
	個人設置型浄化槽	60基	20基	20基	計画に対する進捗率は33.3%と遅れが伺えるが、これは10年概成を見据えた公共下水道区域を見直したこと(H30.9.14)により、個人設置型浄化槽が全て市町村設置型浄化槽へ切り替わったためである。							
	市町村設置型浄化槽	480基	145基	414基	計画に対する進捗率は86.2%と遅れが伺えるが、これは浄化槽施工業者の人材不足や材料の高騰が要因と考えられ、引き続き事業実施を行いたい。							
その他の事業	地域コミュニティ推進事業	小学校区単位で構成し、地域コミュニティの形成、促進を図る			各地域コミュニティ単位で、河川の清掃活動などによる環境保全活動及び、ホテルやウナギなどの稚魚放流事業を実施し、環境意識の高揚を図る活動を実施している。							
	嬉野市定住促進奨励金事業	市内への移住者等に対し奨励金を交付			定住人口の確保と増加を図るため、市内に定住することを目的として住宅を取得された方に対して、転入奨励金又は持家奨励金を交付し、定住促進を図る。							
	空き家バンク事業	市のホームページ等で空き家を紹介			空き家を有効活用して、嬉野市への定住促進と地域の活性化を図る。							
計画外で独自に実施した事業												
④評価方法	嬉野市下水道審議会にて地域再生計画の事後評価を実施した。											
⑤事後評価の公表方法	嬉野市のホームページで公表を行う。											
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、污水処理交付金を活用した公共下水道と浄化槽整備を一体的に整備することで、個別に整備するのに比べて、効率的かつ効果的な施設整備が可能となった。また、適正な污水処理施設整備を促進することにより、污水処理人口普及率を向上させることを目的としている。 なお、現時点での指標1の目標は達成できなかったが、嬉野市のホームページや接続チラシ配布等を実施し、污水処理人口普及率の向上を図る見込みである。											
⑦今後の方針等	本地域再生計画においては、遅れがあったもののその後は順調に整備が進んでおり、公共下水道の整備は完了し浄化槽整備は目標のほぼ達成が見込まれる。このため、今後は浄化槽整備は他の事業で推進していきたい。污水処理人口普及率を向上させるため、浄化槽整備及び広報をしていきたいと考えている。											